

豊総だより

令和5年3月22日

第13号

兵庫県立
豊岡総合高等学校
学校便り



18期生 進路状況

学 科	総 合	環 境 建 設	電 機 応 用	合 計
4年制大学	46	8	2	56
短期大学	12	1	0	13
専門学校等	34	13	11	58
就 職	21	15	17	53
その他	2	0	0	2

(3/15現在)

今年度も就職は絶好調でした。民間企業を
受験した45名が全員1次合格という過去
にない結果でした。公務員も3名が合格し、
これほど順調に就職が決まったのは初めて
です。

進学も国公立大4大に5名、短大に1名と
いう前年を上回る結果で、また有名私大にも
多く合格しました。入試は色々な形態があり
ますが、自分の目標をしっかり持ち、準備を
怠らず、最後まであきらめない姿勢を、18
期生は持っていたと思います。

(進路指導部より)

推薦入試

自分のしたい勉強が十分できた3年間

広島市立大学 国際学部 国際学科

総合学科 小西 葵

小学校の時に海外のドラマを見て、いつか
私も英語を話せるようになり、海外の人と関
わりたかったことがきっかけで、外国語
を学びたいと思うようになりました。

広島市立大学では、語学力を手段として
国際ビジネスや多文化を学ぶことができ、
様々な国の人と国際学生寮で交流できるこ
ろに魅力を感じました。

入試は、一次が〈書類審査〉、二次が〈プレ
ゼンテーション〉〈面接〉〈小論文〉でした。

二次のプレゼンは自分の強みであるこれま
での活動をパワーポイントにまとめました。
内容は、★小4から続けているガールスカウ
ト活動での国際的ボランティア、★吹奏楽部
での、県吹奏楽コンクール金賞受賞をはじめ
とした実績、★実用英語検定2級合格と準1
級への挑戦、を3本柱に、「国際人になる」と
いう将来の目標とつなげました。人に伝える
プレゼンを心がけ、録音して何度もチェック
しました。小論文はテンプレートを作り、新聞
の社説やニュースもよく見るようにしました。
入試にあたっては担任の先生や学年、進路
の先生、国語や美術の先生にもお世話になり
本当に支えてくださったたくさんの先生方に
感謝しています。

豊総では自分で時間割を作ることができ、
私は3年間十分に自分のしたい勉強や活動
ができました。先輩の皆さん、この恵まれた
環境を活用し、誰にも負けない!!という強み
をぜひ作ってください。



合格者体験談 進学〈推薦〉

豊総ならではの
部分を青字に
しました

工業科の強み

福知山公立大学 情報学部 情報学科
電機応用工学科 水田 桔平

電機応用工学科で専門的に学ぶ中で、情
報技術について興味を持つようになりました。
具体的にはプログラムで機械を動かす技術や、
コンピュータを使用したデータ収集や分析で
です。

就職と大学進学で迷っていましたが、将来
豊岡市で、生活が快適・便利になる事業を興
したいと考えるようになり、大学を選択しま
した。入学当初から就職と進学、そのどちら
でも対応できる学力を身につけることを意識
し、第一種電気工事士、計算技術検定2級、
情報技術検定2級、危険物取扱者乙種1〜6
類、等の工業系の資格の他、実用英語検定準
2級を取得しました。

大学は推薦で受験し、試験内容は、〈自己PR
R文〉〈事前提出〉、〈面接〉、〈小論文〉でした。
特に〈自己PR文〉や〈面接〉では、工業科の強
みである資格を積極的にアピールしました。
そして電機応用工学科で習得した専門的な
知識・技術を基に、大学では、将来を見据えて
ICTを使った企業のとりくみを学びたい、
という意欲を伝えました。

先生方に何度も指導をしてもらい、たくさ
んの人に協力していただいて得た合格なので、
感謝を忘れずこれからも頑張っていきたいで
す。

団欒を作る

愛知工業大学 建築学科 住居デザイン専攻
環境建設工学科 岡本 康希

中学生の頃から図面を描くのが得意で建
築士になりたいという夢がありました。先生
に勧められたこともあり、高校で建築を学び
資格を取得したいと思い、環境建設工学科に
入学しました。

私は、団欒というものが住宅を設計する上
で一番魅力的な部分と考えています。一人の
団欒を作る住宅のために、設計について学
び、建築物だけでなく、インテリアや街づく
りに関する学習もしなくてはいけないと考え、
愛知工業大学 建築学科 住居デザイン専攻
を志望しました。この大学にはチューター制
や学習支援センターによる個別の学習サポ
ーがあることにも魅力を感じました。

環境建設工学科の魅力は、●実習や座学
をとおして建築の基礎知識を学べること ●
建築に関する実用的な資格が取得できるこ
と ●卒業設計やコンペへ参加し設計の流れを
学び、発想力を高められることです。
環境の授業は、建築系の進路を考えている
人には役に立つ科目ばかりなので、真面目に
受けておいて損はないと思います。最後に、
特に資格を取っておくことをおすすめします。



岡本さんは、2級
建築施工管理技術
検定試験学科に合
格しました。この資
格は高校生で取得
可能な難易度の高
いものです。

部活動の経験を活かして

鳥取市医療看護専門学校 理学療法学科

総合学科 川口 温

私は高校1年生の時に腰椎分離症になり、その時治療していただいたことをきっかけに理学療法士を目指すようになりました。

私が高校生活で一番力を入れていたのは硬式野球部の活動です。同じ中学校出身で豊総野球部に行った先輩から、充実した活動の様子を聞いて憧れを持ちました。そして勉強とも両立できると知り、ぜひ豊総に進学して野球をしたいと思いました。野球部では早めにグラウンドに行き整備をする役割を3年間続けました。そして視野を広くして行動する力と諦めない気持ちを学び、先生やチームメイトと関わる中でコミュニケーション能力が向上しました。

私が受験した入試は、部活動の実績が評価される「部活動推薦」で、内容は「国語総合」(志望理由書)、「面接」でした。後の二つでは、野球部で身に付けたことや学んだことをアピールしました。志望理由書は早めに書き始め、先生に何度も添削してもらい、面接も何度も練習しました。後輩のみなさん、部活動を3年間続けることは大切です。私のように部活動で学んだことは面接に生かすことができず、社会に出てからも必要になるので諦めず頑張ってください。



経験を積むことの大切さ

兵庫県立総合衛生学院 介護福祉学科

総合学科 林田 彩華

私は祖父母が老老介護の状態になっていくと知り、自分も何か手助けしたいと考え、介護福祉士を志望しました。



入試科目の「面接」と「小論文」は、どちらもすごく苦手でしたが、だからこそ余裕を持って小論文の練習を始めました。できるだけ多くの問題を解き、先生に添削してもらうことで本番も安心して解くことができました。面接練習では、部活動・検定・生徒会活動をメインに話しました。ソフトテニス部ではキャプテンを務めたので、そこで身に付けたリーダーシップや調整力を介護の仕事に役立てたい、と伝えました。その他、検定取得への挑戦(主簿簿記実務1級、ビジネス計算実務1級、情報処理ビジネス情報部門1級、財務諸表分析1級に合格)や、生徒会活動(副総務部長)など、たくさんの経験を元に、しっかりと面接試験の準備が出来たと思います。豊総では、自分に合った時間割が組めたり(進路に関係する「生活と福祉」の授業も選択しました)、進学補習や検定に向けての補習も多く行われるので、入試対策に早い段階で取り組めるのが良かったです。後輩のみなさんも、行きたい進路先が決まったら早めに動くようにしてください。そして、積極的に行事や部活動に参加し、たくさん経験を積んでください。

経験がつくる未来

公立八鹿病院看護専門学校

総合学科 小嶋 寧音

私の将来の夢は看護師です。この夢を叶えるために、過疎化が進んでいる地元の医療に貢献できる公立八鹿病院看護専門学校を選びました。身近で通いやすく、奨学金があることも魅力でした。

私はバスケットボール部に所属し、勉強と両立させ選手として頑張ってきました。しかし2年生でじん帯を損傷したため、半年以上練習ができず、自分でできることでチームを支えました。看護師を目指したのは、この怪我で入院した際に看護師の方に支えてもらい乗り越えられたことがきっかけです。将来看護師になった時、私も患者さんを支えたいと思います。

受験は指定校推薦で、試験科目は、「英語」(国語)、「数学」と「面接」でした。面接では、資格取得に励んだこと、リーダー性を身に付けるために生徒会に入って活動したこと、部活動で好成績を残したことをアピールしました。

私が高校生活を過ごしてきたてき大切だと思ったりとは積極的に行動することです。いろいろなことに挑戦し経験することが成長につながります。挫折や失敗も経験なので恐れず、後悔しないよう頑張ってください。



早めの準備を

倉敷市立短期大学 保育学科

総合学科 杉本 青楓

私は将来子どもと関わる仕事をしたいと考えていました。そして中学校の職業体験で保育園に行き、保育士になりたいという気持ちが強くなりました。国公立短大を希望していたこと、実習が充実していることから倉敷市立短大を志望しました。

入試科目は「活動報告書」(面接)、「小論文」で、「活動報告書」は、おもに女子バスケットボール部でのキャプテン経験について記述しました。キャプテンを務めたことで、周りを見て行動し集団をまとめる力をつけることができました。この力を将来の保育の仕事につなげたいと思っています。(面接)の対策は志望校の情報を集め、どんな質問にも対応できるようにノートにまとめました。

「小論文」では家庭科の先生に細部まで添削してもらいました。ただ取りかかりが遅くなったので、早めの準備が本当に大切だと実感しました。

私は2・3年で「子どもの発達と保育」(計4単位)や「音楽1」「演奏研究」を選択しました。高校で保育の基礎を学び、保育に役立つ実習ができてよかったです。

